

箱根組ニュース

第320号 2019年8月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！

各自保険に入って山に登りましょう！

北岳から間ノ岳、そしてまた北岳に登る。天候に恵まれ三泊四日で天空の散歩を楽しんだ。

7月29日(月)、新宿発7時のあずさ1号松本行きに乗車。甲府着8時27分。降り立ったのは佐藤、有倉、奥村、川名夫人、戸丸の5名。

9時5分発の広河原行きのバスはゆつくり座れると思いきや、バス会社が用意した3台では乗り切れず、通路に座るような感じで出発。それでも夜叉神峠で降りた人が多かった一台前のバスに乗り換えて座ることができ何とか無事に広河原に着いた。

11時過ぎ、広河原着。バス停横の東屋で持参の昼食。身支度を整えストレッチをする。

12時、いよいよ出発。行程は白根御池小屋までの地図上では約3時間。

左側には野呂川が流れている。そこに大樺沢の雪解け水が白く流れ込んでいる。その奥には雲がかかった北岳、そのすぐ下には大きな雪渓が見えている。

12時9分、広河原に架かる吊り橋を渡る、結構揺れる。広河原山荘の横を通り山道に入ってゆく。

12時37分、左大樺沢と右樹林帯コ

ースの分岐を右に森の中へ入ってゆく。傾斜は徐々に険しくなり、いよいよ急な坂を登ってゆくと左に道がカーブして緩やかになる。

3時5分、登り切った感じのところでも小休止。小さなゴゼンタチバナが一輪咲いている。それを見て有倉さんがなぜか笑っている。

等高線の間を進む、つまり傾斜はほとんどない。

3時34分、白野御池小屋まであと20分の案内板を通過。

3時44分、仮設の橋で小さな沢を通過。途中、一時雷が鳴っていたが降られることなくここまで来たが、少しぼつぼつと落ちてきた。

4時頃、無事に御池小屋に到着。2階の奥の部屋に落ち着く。島根からの5人組と我々5人とで向かい合わせで布団が敷かれている。お互い話もできて和気あいあいという感じだ。

夕食前に生ビールを玄関奥のベンチでいただく。この時外はかなりの雨だった。



夕食後、同室の島根の黒一点のリーダー天川さんとちよつと酒宴。いろんな山に行っているお話が聞けた。

夜中、窓から空を見ると満天の星。夜明け前4時前に外に出ると天の川がはつきりと見え星は多すぎて星座が分からない。夜が明けると日本晴れ。北岳がくつきりと見える。御池には逆さ北岳が映りこんでいた。朝食を食べながら日の出を楽しむ。

7月30日(火)二日目。6時45分発。この日のコースは草スベリから肩の小屋経由で北岳山頂、そして北岳山荘まで。

後ろに鳳凰三山を従えながら草スベリの傾斜をじわじわと登ってゆく。朝は少し寒かったがすぐにTシャツ一枚だ。

切手残数
82円切手
40円切手

美しいダケカ
ンバの緑と北
岳を見ながら
高低差500
mの直登を登
りきる。

9時30分、
右股コースの
分岐に到着。お
花畑の中の急
傾斜がなおも
続く。

38939円

1000円

400円

38939円

現在の収支
繰越
入金
支出
印刷費
コピー代
現在高

10時、富士山が山頂を見
せてくれた。

10時半、小太郎尾根分岐。
尾根の絶景が広がる。北岳の
北側、甲斐駒と仙丈ヶ岳。特
に仙丈ヶ岳の容姿は美しい。

ヘリコプターが何度も往復し
て忙しく荷物を運んでいる。
11時35分、3000m
の肩の小屋に到着。500円
也のサイダーでお弁当を食べ
る。小屋の左横から岩の尾根
を登っていく。

2時、北岳山頂3193m
着。

2時35分、北岳山荘に向
かって下山開始。お花畑が美
しい。雷鳥も親子で姿を見せ
た。

4時40分、北岳山荘着。
予想を超える登山客との事
で我等5人の中3人は玄関
すぐの廊下で寝ることにな
った。その廊下で缶ビールを
いただいたのはなかなかの
体験だ。思いのほか廊下は快
適で熟睡できた。

翌朝の富士と雲海は見事
だった。ご来光を仰いでから

8月18日(日)は奥多摩の御岳山(929E)。

らくだコース 歩行約3時間

有名なレンゲシユウマの花が見られそうです。
御嶽駅からバス利用、ケーブルで往復します。
御岳神社からロックガーデンを楽しめます。

※何か汁物を作る予定です。

○持ち物 昼食、ポットにお湯、食器、箸、飲料水、
非常食、雨具、傘、スパッツ、カップ、タオル、着替え、
ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、
(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、
ちり紙(ロールペーパー等)、予備靴紐、ライターかマッ
チ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込み締め切り 8月16日(金)

集合

8月18日(日) JR東京駅(2番線)
7:07発 中央特快高尾行き
(前から3両目車内)
途中駅発 神田7:09 御茶ノ水7:12
四ツ谷7:16 新宿7:21 中野7:26
三鷹7:34 国分寺7:41

立川7:47着(青梅線乗換)7:57発
御嶽8:48着(バス乗り換え)
交通費 東京~御嶽(片道1080円)
ケーブル往復 1110円

●お申し込み・お問い合わせ
Tel・Fax/03-3521-6898 戸丸
戸丸携帯090-4541-7066

携帯メール:satorutomaru@gmail.com

メール:tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi



朝食。7月31日(水)三日目の行程は、間ノ岳往復ともう一度北岳に登り下つて肩の小屋に宿泊だ。

6時45分発。サブザックで軽い荷物で日本第3位の間ノ岳に向かう。(奥村さんは途中の中白根山まで)荷物が軽いと脚は軽やかだ。

7時45分、中白根山3055m着。途中知り合った6年生のタイヨウ君母子とほぼ一緒だ。天空の散歩を楽しみながら岩も乗り越える。

9時35分、間ノ岳3189, 3m着。北には昨日上った、そしてまた今日上る北岳。その左隣には岩肌が荒々しい甲斐駒ヶ岳、その左には緑の美しい仙丈ヶ岳。南側には農鳥岳、塩見岳などの景色が

広がっている。東南方向には富士が。景色を堪能しながら来た道を戻る。

11時40分、北岳山荘着。食堂で頂いたカレーライスがおいしかった。小屋前で記念撮影をする。

12時35分、再び北岳に向かって出発。目の前にそびえる北岳の岩肌はなかなか見事だ。

3時25分、二度目の北岳山頂。下つてゆくとぽつぽつと雨が落ちてきた。合羽を着なければいけないかと思っていたら、目の前に肩の小屋の屋根が見えた。

4時過ぎ、肩の小屋着。宿泊の手続きをしていたら激しい雨が降ってきた。小屋の主人によるとこのところ夕方は毎日こんな雨が降っているという。部屋は二階の奥でゆっくり休むことができた。

夕食時、高知から来たご夫婦とお話してきた。我々と同じコースだった。北岳に二度上る人はたくさんいるらしいという情報も。

夜の星空には圧倒された。日の出を待つ人々は60人ほどもいただろうか。5時の食事のアナウンスにも耳を貸さないほどだった。絶景の中この三日間で最高の日の出を堪能した。

6時35分頃、下山開始。北側の絶景を堪能しながらの下山は楽しい。小太郎尾根分岐で佐藤、戸丸の両名は「上を向

いて歩こう」の練習。隣の登山客3人もっと大きな声で歌ってくださいと嬉しいお言葉。

下山はコースを変えて二又から大樺沢経由で広河原を目指した。途中沢で体を冷やしたり、沢水を飲んだりしながら、午後1時前に広河原着。1時のバスを見送り、東屋でお弁当。

2時のバスで甲府へ。北口の温泉銭湯で汗を流し、ほうとうのお店で生ビール。美味しい打ち上げをして帰京。



